



# よむよむ



平成27年6月23日  
たかねにししょうがっこうとしょかん  
高根西小学校図書館



ただ今「梅雨」真っ只中!! 「雨が降っていて外で遊ばなくてつまらな〜い!」と  
思っている人も多いのではないのでしょうか? そんな人は、図書室で本を読ん  
でみませんか? 本を読むと、その場にながら心は色々な世界を旅したり、未来や過去に  
タイムスリップして冒険したりワクワクドキドキを味わうことができます! つまり、  
体を動かさなくても心が思いっきり遊んでいることになるのです。

さあ、「雨が降ったら図書室へ行こう!」を合言葉に、この梅雨の  
時期に思いっきり読書を楽しみましょう♪そして、読書で心を育てましょう♪



## ★青少年読書感想文コンクールの課題図書★

### 『ぼくの、ひかり色の絵の具』

西村 すぐり 著



写生の時間、納得のい  
かない絵を描かされた  
ユク。傷ついたユクは絵  
を引き裂いてしまうが、  
花にくわしい少女に励  
まされ、絵を描くことの  
意味、喜びを理解して  
いく。

### 『ぼくとテスの秘密の七日間』

アンナ・ウォルツ 著



十歳の男の子サミュ  
エルは、家族と出かけた  
テッセル島の砂浜で、島  
に住むひとつ年上の女  
の子、テスと出会う。  
その子には秘密の計画  
があって…。

### 『ちいさなちいさな めにみえない びせいぶつの せかい』

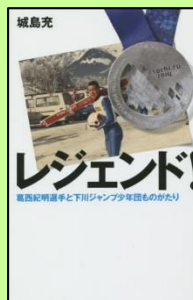
ニコラ・デイビス 著



身のまわりにいる、目に  
みえない、ちいさな、  
ちいさな生き物 -  
微生物。その存在と人間  
の暮らしとの関わり、  
自然界での大きな役割  
とは…。

### 『レジェンド! 萬西紀明選手と 下川ジャンプ少年団ものがたり』

城島 充 著



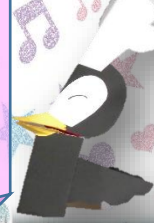
下川ジャンプ少年団か  
らは、なぜ多くの名選手  
が育っていくのか。ソチ  
五輪で「レジェンド=  
伝説」となった萬西紀明  
選手と、北海道下川町の  
子どもたちのがんばりを  
描いた感動作。

# ☆おはなしやさんが"やってきた"☆

6月4日、"おはなしや"さんによる、一年生対象のお話会が開かれました。どのお話も楽しくて、一年生はキラキラ目を輝かせながら、思いっきりお話の世界を楽しんでいました♪

## ☆おはなし会の内容

- ① 『あいうえお体操』
- ② 『999ひきのきょうだいのおひっこし』・・・大型絵本 おおがたえほん
- ③ 『からすのパンやさん』・・・ペープサート



はじめまして♪

ときどき

みんなで「あ・い・う〜♪」

わあ

さわらせて〜♪

おはなしやさん ありがとうございます！！



## かぞく 家族みんなでおうちで読書！！



みなさん、「家読（うちどく）」という言葉を知っていますか？2年生以上の方は、昨年度「家読（うちどく）」の取り組みをしたので覚えていると思いますが、家読（うちどく）とは、**家族みんなでお家で読書**をすることをいいます。読書には、「一人で本を読み、本の世界を思いっきり冒険する楽しみ」だけではなく、「まわりの人と一緒に本を読んで、感じたことや思ったことを話し合ったり共有したりする楽しみ、大好きな家族とおすすめの本を紹介し合い読書の世界を広げていく楽しみ・・・」など他にも色々な楽しみ方があると思います。西小のみなさんにも色々な読書の楽しみを知ってもらいたい、そしてもっともっと読書が大好きになって豊かな心を育てていってほしいと願っています。

そこで、西小では今年も「家読（うちどく）」に取り組んでいきたいと考えています。大きな取り組みとしては、夏休み中に取り組む「うちどくポストカード」がありますが、取り組みが無いときでも、家族と時間を作って「家読（うちどく）」にチャレンジしてほしいです♪

### ☆☆☆お家の方へ☆☆☆

子どもたちが、これからの変化の激しい時代の中を立派に生きていくために必要な基礎となる力を身につけることが求められています。家読とは、「家族みんなでおうちで読書」を略したものです。家族みんなに本に親しみ思いを共有する時間は、簡単には折れることのない「しなやかな心」を育ててくれるはずで、本校では、本年度も家読の取り組みを実践していきたいと考えておりますので、その際はご協力をよろしくお願いいたします。

「山梨県教育委員会しなやかな心の育成プロジェクト」から出された資料を別紙で配布させていただきますの「家読」の参考にしていただければと思います。ちなみに、資料には、高根西小の家読の感想を載せていただいています。

また、インターネットで、[山梨県「しなやかな心の育成プロジェクト」社会教育課の取り組み](#)を検索していただくと、「家読」について詳しく載っているので、そちらも参考にしてください。